

配付数	252
回答者数	199
回答率	79.0%

現況分析部会 評価者アンケート集計結果(速報値)

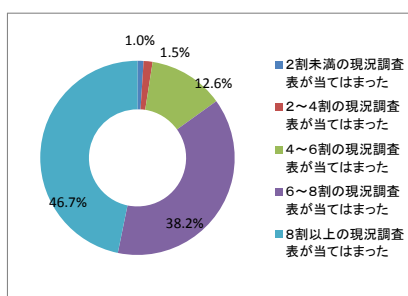
資料 2-3
国立大学教育研究評価委員会 (第46回)
平成29年6月21日

I 大学から提出された現況調査表について

(1) 主・副担当をされた現況調査表について(部会長・副部会長は確認された現況調査表全体について)、どのように思われましたか。以下のa.～f.について、5段階から当てはまるものを選択ください。

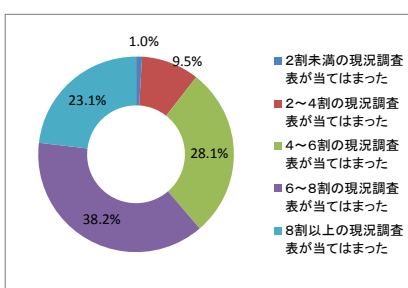
(a. 学部・研究科等の目的が明確に記されていた)

		数	割合
1	2割未満の現況調査表が当てはまった	2	1.0%
2	2～4割の現況調査表が当てはまった	3	1.5%
3	4～6割の現況調査表が当てはまった	25	12.6%
4	6～8割の現況調査表が当てはまった	76	38.2%
5	8割以上の現況調査表が当てはまった	93	46.7%
総計		199	100.0%
無回答		0	
平均		4.28	
割換算*		7.56	
*2割未満→1割、2～4割→3割、4～6割→5割、6～8割→7割、8割以上→9割として換算			



(b. 「想定する関係者の期待」が明確に記されていた)

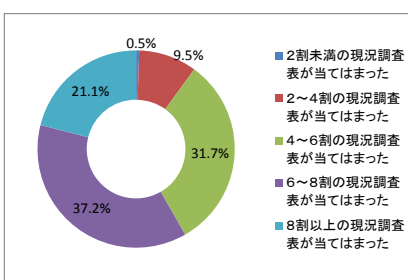
		数	割合
1	2割未満の現況調査表が当てはまった	2	1.0%
2	2～4割の現況調査表が当てはまった	19	9.5%
3	4～6割の現況調査表が当てはまった	56	28.1%
4	6～8割の現況調査表が当てはまった	76	38.2%
5	8割以上の現況調査表が当てはまった	46	23.1%
総計		199	100.0%
無回答		0	
平均		3.73	
割換算		6.46	



1

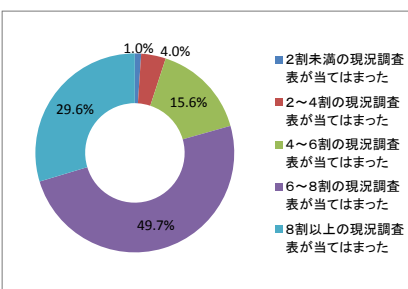
(c. 評価するのに必要な根拠・データが報告書内に記されていた)

		数	割合
1	2割未満の現況調査表が当てはまった	1	0.5%
2	2～4割の現況調査表が当てはまった	19	9.5%
3	4～6割の現況調査表が当てはまった	63	31.7%
4	6～8割の現況調査表が当てはまった	74	37.2%
5	8割以上の現況調査表が当てはまった	42	21.1%
総計		199	100.0%
無回答		0	
平均		3.69	
割換算		6.38	



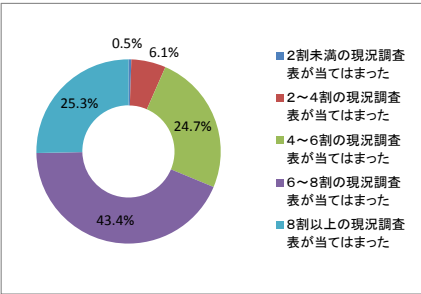
(d. 教育・研究活動の優れている点が具体的に説明されていた)

		数	割合
1	2割未満の現況調査表が当てはまった	2	1.0%
2	2～4割の現況調査表が当てはまった	8	4.0%
3	4～6割の現況調査表が当てはまった	31	15.6%
4	6～8割の現況調査表が当てはまった	99	49.7%
5	8割以上の現況調査表が当てはまった	59	29.6%
総計		199	100.0%
無回答		0	
平均		4.03	
割換算		7.06	



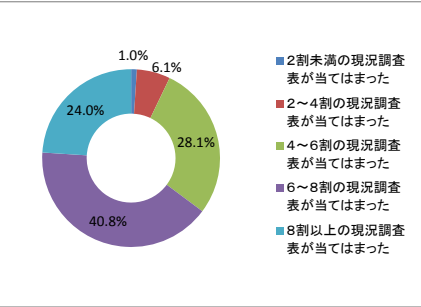
(e. 教育・研究活動による成果が具体的に説明されていた)

		数	割合
1	2割未満の現況調査表が当てはまった	1	0.5%
2	2～4割の現況調査表が当てはまった	12	6.1%
3	4～6割の現況調査表が当てはまった	49	24.7%
4	6～8割の現況調査表が当てはまった	86	43.4%
5	8割以上の現況調査表が当てはまった	50	25.3%
総計		198	100.0%
無回答		1	
平均		3.87	
割換算		6.74	



(f. 全体的に見て、現況調査表は評価を行うのに十分に書かれていた)

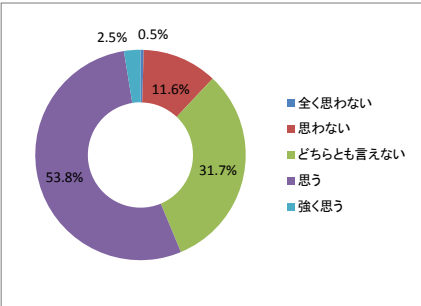
		数	割合
1	2割未満の現況調査表が当てはまった	2	1.0%
2	2～4割の現況調査表が当てはまった	12	6.1%
3	4～6割の現況調査表が当てはまった	55	28.1%
4	6～8割の現況調査表が当てはまった	80	40.8%
5	8割以上の現況調査表が当てはまった	47	24.0%
総計		196	100.0%
無回答		3	
平均		3.81	
割換算		6.61	



(2) 現況調査表は、評価項目・観点ごとに具体的に何を記載するかやどのような根拠データ・資料を示すかは、各大学に委ねています。

① このような方法により、各学部・研究科等の個性的な取組が把握できたと感じられますか。

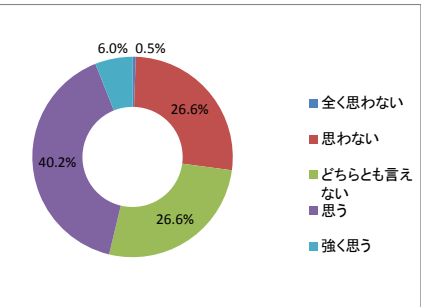
		数	割合
1	全く思わない	1	0.5%
2	思わない	23	11.6%
3	どちらとも言えない	63	31.7%
4	思う	107	53.8%
5	強く思う	5	2.5%
総計		199	100.0%
無回答		0	
平均		3.46	



②このような方法によって、以下のような課題を感じられましたか。

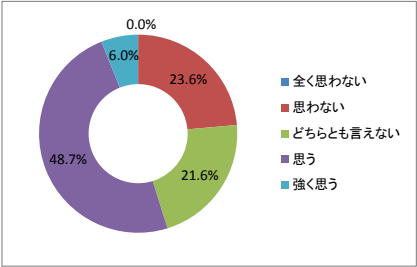
(a. 活動や成果の記載内容が大学ごとに多様であったために、評価がしづらかった)

		数	割合
1	全く思わない	1	0.5%
2	思わない	53	26.6%
3	どちらとも言えない	53	26.6%
4	思う	80	40.2%
5	強く思う	12	6.0%
総計		199	100.0%
無回答		0	
平均		3.25	



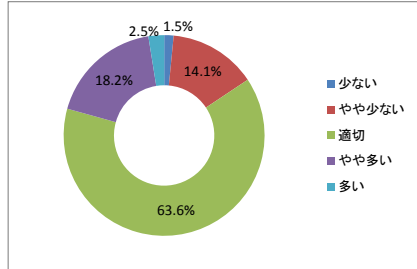
(b. 根拠データ・資料の記述内容や記載様式が大学ごとに多様であったため、解釈しづらかった)

		数	割合
1	全く思わない	0	0.0%
2	思わない	47	23.6%
3	どちらとも言えない	43	21.6%
4	思う	97	48.7%
5	強く思う	12	6.0%
総計		199	100.0%
無回答		0	
平均		3.37	



(3) 提出された現況調査票のページ数(分量)は、評価を実施する上で適切でしたか。以下の5段階から選択ください。

		数	割合
1	少ない	3	1.5%
2	やや少ない	28	14.1%
3	適切	126	63.6%
4	やや多い	36	18.2%
5	多い	5	2.5%
総計		198	100.0%
無回答		1	
平均		3.06	



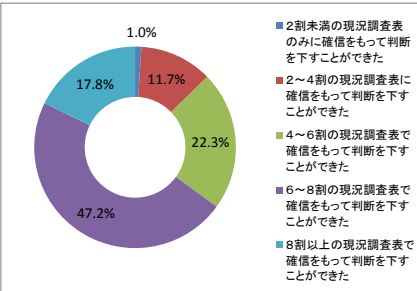
I - (4): 自由記述(別紙参照)

II 評価方法について

(1) 主・副担当をされた学部・研究科等について(部会長・副部会長は全体について)、書面調査段階において評価判断を確信をもって行うことができましたか。教育水準と研究水準についてそれぞれ以下の5段階から選択ください。

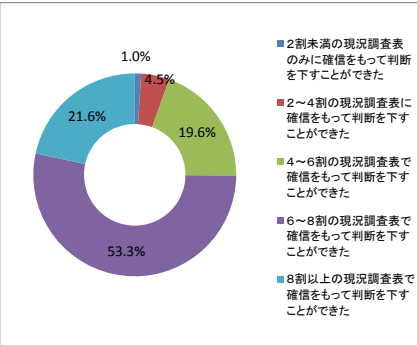
(教育水準)

		数	割合
1	2割未満の現況調査表のみに確信をもって判断を下すことができました	2	1.0%
2	2～4割の現況調査表に確信をもって判断を下すことができました	23	11.7%
3	4～6割の現況調査表で確信をもって判断を下すことができました	44	22.3%
4	6～8割の現況調査表で確信をもって判断を下すことができました	93	47.2%
5	8割以上の現況調査表で確信をもって判断を下すことができました	35	17.8%
総計		197	100.0%
無回答		2	
平均		3.69	
割換算		6.38	



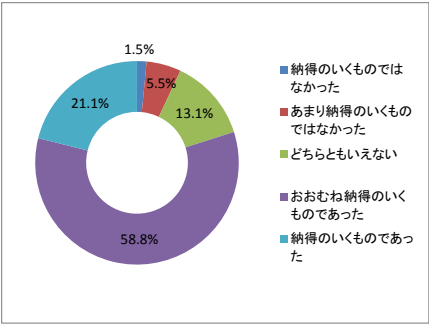
(研究水準)

		数	割合
1	2割未満の現況調査表のみに確信をもって判断を下すことができました	2	1.0%
2	2～4割の現況調査表に確信をもって判断を下すことができました	9	4.5%
3	4～6割の現況調査表で確信をもって判断を下すことができました	39	19.6%
4	6～8割の現況調査表で確信をもって判断を下すことができました	106	53.3%
5	8割以上の現況調査表で確信をもって判断を下すことができました	43	21.6%
総計		199	100.0%
無回答		0	
平均		3.90	
割換算		6.80	



(2) 評価者による書面調査の後に、機構内の2回の部会において評価結果(段階判定を含む)の調整を行いました。調整を経て決定された評価結果は、評価者として納得のいくものとなりましたか。

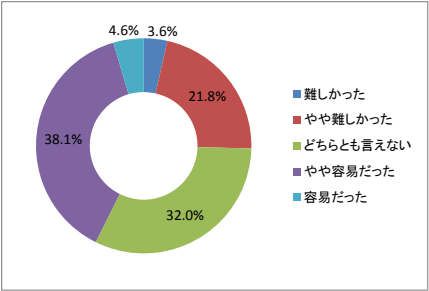
		数	割合
1	納得のいくものではなかった	3	1.5%
2	あまり納得のいくものではなかった	11	5.5%
3	どちらともいえない	26	13.1%
4	おおむね納得のいくものであった	117	58.8%
5	納得のいくものであった	42	21.1%
総計		199	100.0%
		無回答	0
		平均	3.92



(3) 分析項目ごとに評価を行う難しさは異なりましたか。以下の5段階から選択ください。

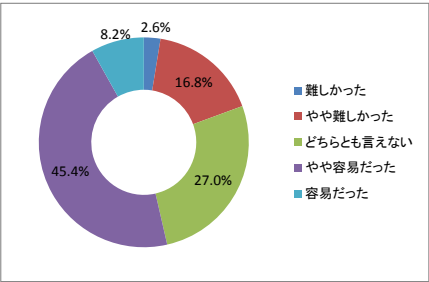
(Ⅰ 教育活動の状況(教育実施体制、教育内容・方法))

		数	割合
1	難しかった	7	3.6%
2	やや難しかった	43	21.8%
3	どちらとも言えない	63	32.0%
4	やや容易だった	75	38.1%
5	容易だった	9	4.6%
総計		197	100.0%
		無回答	2
		平均	3.18



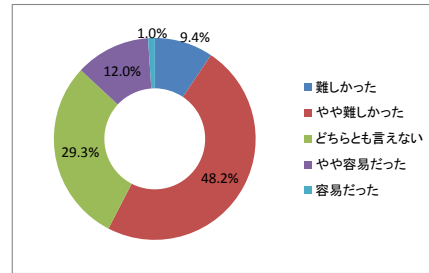
(Ⅱ 教育成果の状況(学業の成果、進路・就職の状況))

		数	割合
1	難しかった	5	2.6%
2	やや難しかった	33	16.8%
3	どちらとも言えない	53	27.0%
4	やや容易だった	89	45.4%
5	容易だった	16	8.2%
総計		196	100.0%
		無回答	3
		平均	3.04



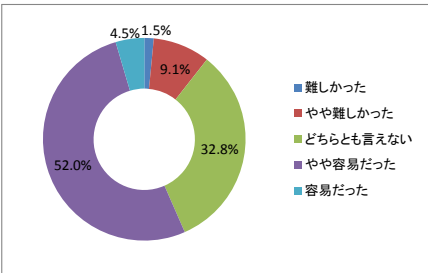
(教育の質の向上度)

		数	割合
1	難しかった	18	9.4%
2	やや難しかった	92	48.2%
3	どちらとも言えない	56	29.3%
4	やや容易だった	23	12.0%
5	容易だった	2	1.0%
総計		191	100.0%
		無回答	8
		平均	2.47



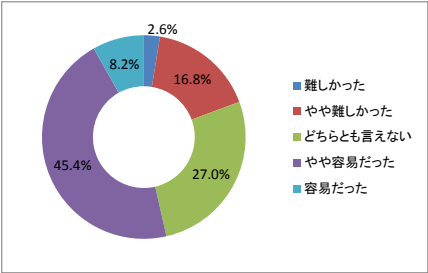
(Ⅰ 研究活動の状況(研究活動の状況、共同利用・共同研究の実施状況))

		数	割合
1	難しかった	3	1.5%
2	やや難しかった	18	9.1%
3	どちらとも言えない	65	32.8%
4	やや容易だった	103	52.0%
5	容易だった	9	4.5%
総計		198	100.0%
無回答		1	
平均		3.49	



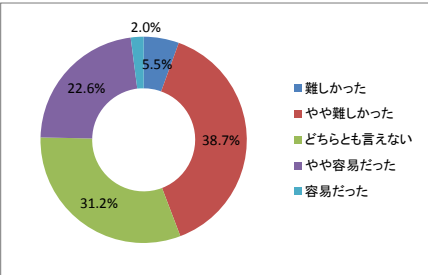
(Ⅱ 研究成果の状況)

		数	割合
1	難しかった	5	2.6%
2	やや難しかった	33	16.8%
3	どちらとも言えない	53	27.0%
4	やや容易だった	89	45.4%
5	容易だった	16	8.2%
総計		196	100.0%
無回答		3	
平均		3.40	



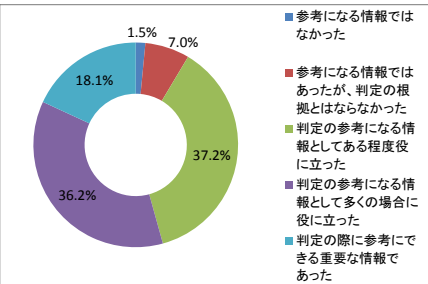
(研究の質の向上度)

		数	割合
1	難しかった	11	5.5%
2	やや難しかった	77	38.7%
3	どちらとも言えない	62	31.2%
4	やや容易だった	45	22.6%
5	容易だった	4	2.0%
総計		199	100.0%
無回答		0	
平均		2.77	



(4)－①「研究成果の状況」の分析項目については、学部・研究科等を代表する研究業績(専任教員数の20%程度を目安)の「研究業績水準判定結果一覧表」(SS、S、S未満の数・割合やSSとした判断根拠)を評価者に提供しました。研究業績水準判定結果は、「研究成果の状況」を判定する資料として参考になるものでしたか。以下の5段階から選択ください。

		数	割合
1	参考になる情報ではなかった	3	1.5%
2	参考になる情報ではあったが、判定の根拠とはならなかった	14	7.0%
3	判定の参考になる情報としてある程度役に立った	74	37.2%
4	判定の参考になる情報として多くの場合に役に立った	72	36.2%
5	判定の際に参考にできる重要な情報であった	36	18.1%
総計		199	100.0%
無回答		0	
平均		3.62	



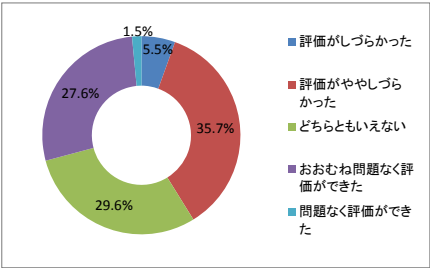
(4)－②参考にならなかった理由があれば、当てはまる選択肢全てにチェックを付けてください(複数選択可)。

	数
a. 専任教員数の20%程度の研究業績では全体状況がわからないから	29
b. SS, S, S未満と判断された基準が不明瞭であったから	60
c. 他大学の学部・研究科等の判定結果との比較ができなかったから	59
d. 大学によって業績数の提出状況が異なるから	40

e. その他: 自由記述(別紙参照)

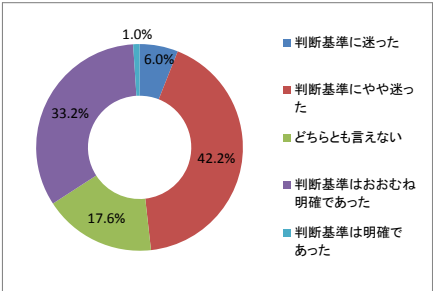
(5) 評価は、大学が記載した「想定する関係者の期待」に基づいて判断を行っていただきました。このような判断基準で評価を問題なくできましたか。以下の5段階から選択ください。

	数	割合
1 評価がしづらかった	11	5.5%
2 評価がややしづらかった	71	35.7%
3 どちらともいえない	59	29.6%
4 おおむね問題なく評価ができた	55	27.6%
5 問題なく評価ができた	3	1.5%
総計	199	100.0%
無回答	0	
平均	2.84	



(6) 段階判定(「期待される水準を上回る」や「期待される水準にある」などの判定)の基準は明確でしたか。以下の5段階から選択ください。

	数	割合
1 判断基準に迷った	12	6.0%
2 判断基準にやや迷った	84	42.2%
3 どちらとも言えない	35	17.6%
4 判断基準はおおむね明確であった	66	33.2%
5 判断基準は明確であった	2	1.0%
総計	199	100.0%
無回答	0	
平均	2.81	

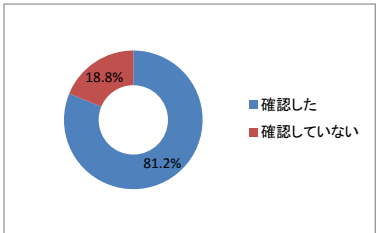


(7) : 自由記述(別紙参照)

Ⅲ 参考資料について

(1)－①人文、社会、理学、工学、農学、保健、教育学系については、現況調査表に記載されることが期待される取組や成果の事例を挙げた「参考例」を研修会にて配付しました。評価作業の前に「参考例」は確認されましたか。

	数	割合
1 確認した	160	81.2%
2 確認していない	37	18.8%
総計	197	100.0%
無回答	2	



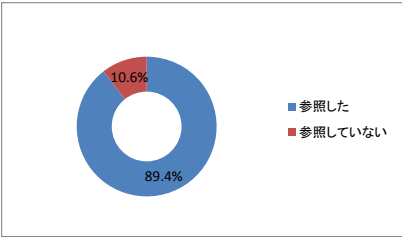
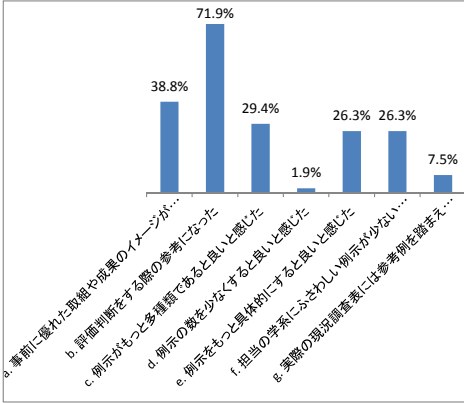
Ⅲ－(1)－②上の問いで「確認した」と回答した場合、以下から当てはまるものを全て選んでください(複数選択可)。

	数	割合**
a. 事前に優れた取組や成果のイメージがついた	62	38.8%
b. 評価判断をする際の参考になった	115	71.9%
c. 例示がもっと多種類であると良いと感じた	47	29.4%
d. 例示の数を少なくすると良いと感じた	3	1.9%
e. 例示をもっと具体的にすると良いと感じた	42	26.3%
f. 担当の学系にふさわしい例示が少ないと感じた	42	26.3%
g. 実際の現況調査表には参考例を踏まえた記述がなされていた	12	7.5%

**1 確認した」と回答した者に占める割合

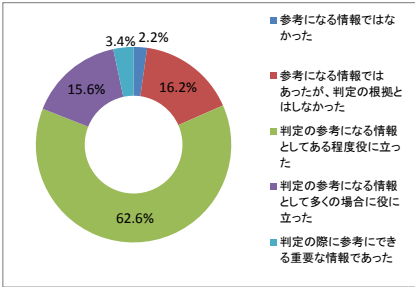
(2)－①今回の評価では「データ分析集」として、学部・研究科等に関する定量的データを評価者に提供しました。「データ分析集」は参照されましたか。

	数	割合
1 参照した	177	89.4%
2 参照していない	21	10.6%
総計	198	100.0%
無回答	1	



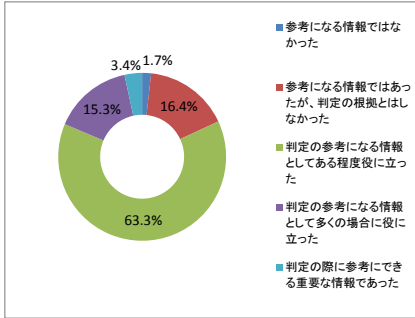
(2)－②上の問いで「参照した」と回答した場合、判定にどの程度参考になりましたか。以下の5段階から選択ください。

	数	割合
1 参考になる情報ではなかった	4	2.2%
2 参考になる情報ではあったが、判定の根拠とはしなかった	29	16.2%
3 判定の参考になる情報としてある程度役に立った	112	62.6%
4 判定の参考になる情報として多くの場合に役に立った	28	15.6%
5 判定の際に参考にできる重要な情報であった	6	3.4%
総計	179	100.0%
無回答	20	
平均	3.02	



(①で「参照した」と回答した者のみのデータ)

	数	割合
1 参考になる情報ではなかった	3	1.7%
2 参考になる情報ではあったが、判定の根拠とはしなかった	29	16.4%
3 判定の参考になる情報としてある程度役に立った	112	63.3%
4 判定の参考になる情報として多くの場合に役に立った	27	15.3%
5 判定の際に参考にできる重要な情報であった	6	3.4%
総計	177	100.0%
無回答	22	
平均	3.02	

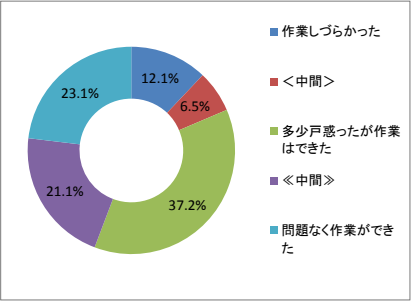


(2)－③: 自由記述 (別紙参照)
(3): 自由記述 (別紙参照)

IV 評価作業と事前研修について

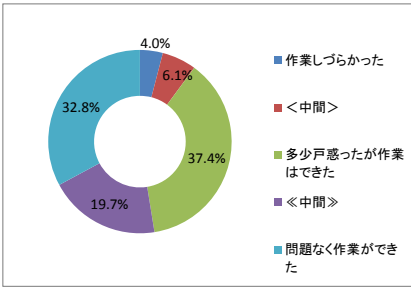
(1) 書面調査シートについて
評価作業はマイクロソフト社のExcelによる「書面調査シート」で行っていただきました。その使い勝手はいかがでしたか。以下の5段階から選択ください。

		数	割合
1	作業しづらかった	24	12.1%
2	<中間>	13	6.5%
3	多少戸惑ったが作業はできた	74	37.2%
4	《中間》	42	21.1%
5	問題なく作業ができた	46	23.1%
総計		199	100.0%
無回答		0	
平均		3.37	



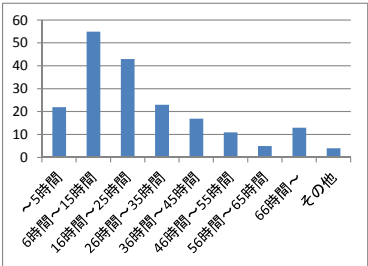
(2) ウェブ(書面調査システム)による作業について
ファイルの受け渡しを、ウェブサイト(書面調査システム)を用いて行いました。その使い勝手はいかがでしたか。以下の5段階から選択ください。

		数	割合
1	作業しづらかった	8	4.0%
2	<中間>	12	6.1%
3	多少戸惑ったが作業はできた	74	37.4%
4	《中間》	39	19.7%
5	問題なく作業ができた	65	32.8%
総計		198	100.0%
無回答		1	
平均		3.71	

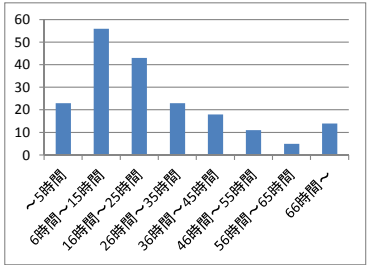


IV－(3)－①書面調査にかかった、おおむねの作業時間をお答えください。

「その他」数値化前	数
～5時間	22
6時間～15時間	55
16時間～25時間	43
26時間～35時間	23
36時間～45時間	17
46時間～55時間	11
56時間～65時間	5
66時間～	13
その他	4
総計	193
不明・無回答	6
平均(「その他」除く)	28.5
中央値	20



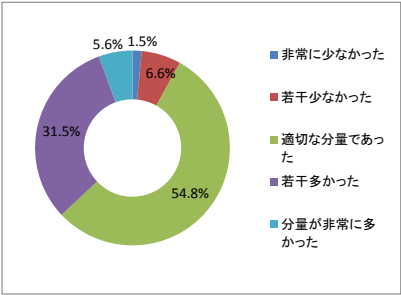
「その他」数値化後	数
～5時間	23
6時間～15時間	56
16時間～25時間	43
26時間～35時間	23
36時間～45時間	18
46時間～55時間	11
56時間～65時間	5
66時間～	14
総計	193
その他・無回答	6
平均	28.9
中央値	20



(参考) その他: 「1 部局5」、「24 / 部局」、「1 ~ 3」、「4 ~ 50」。
数値化に当たっては、前者二つはそれぞれの時間を担当組織数で乗じた。また、「1 ~ 3」は「2」、「4 ~ 50」は「45」とした。

(3) ー②評価担当の現況調査表の数(担当の学部・研究科等の数)は多すぎましたか、それとも、少なすぎて他大学の情報が無くて評価がしにくい等の問題がありましたか。当てはまるものを以下の5段階から選択ください。

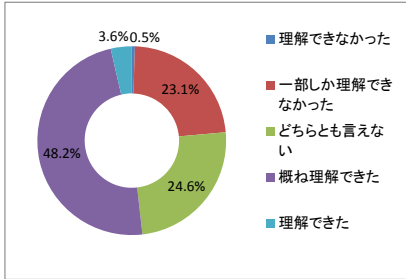
		数	割合
1	非常に少なかった	3	1.5%
2	若干少なかった	13	6.6%
3	適切な分量であった	108	54.8%
4	若干多かった	62	31.5%
5	分量が非常に多かった	11	5.6%
総計		197	100.0%
無回答		2	
平均		2.67	



IVー(3)ー③: 自由記述(別紙参照)

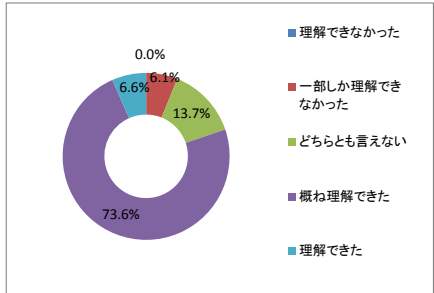
(4) 評価者研修会について
評価方法は、評価者研修会により理解できましたか。

		数	割合
1	理解できなかった	1	0.5%
2	一部しか理解できなかった	45	23.1%
3	どちらとも言えない	48	24.6%
4	概ね理解できた	94	48.2%
5	理解できた	7	3.6%
総計		195	100.0%
無回答		4	
平均		3.31	



(5) 評価作業マニュアルについて評価方法は、評価作業マニュアルにより理解できましたか。

		数	割合
1	理解できなかった	0	0.0%
2	一部しか理解できなかった	12	6.1%
3	どちらとも言えない	27	13.7%
4	概ね理解できた	145	73.6%
5	理解できた	13	6.6%
総計		197	100.0%
無回答		2	
平均		3.81	



IV-(6): 自由記述(別紙参照)

V: 自由記述(別紙参照)